

新潟県新潟市 9歳 小学3年生

体育の授業中で、バスケットボールをしていた。地震が起きた時、クラスメイトとかたまって体育館の真ん中にいたのを覚えている。その後、臨時の全校集会が開かれ、保護者が迎えに来てくれた子どもは帰り、余った子ども達は集団下校をした。私は帰りがすごく遅れた。家に帰ってテレビを見たら、様々な情報が流れてきて、そこで初めてヤバイことが起こっていると分かった。

津波の映像は一瞬で何が起ってどれくらい危険かは見て分かったが、原発が爆発した映像は何が起っているか理解できなかった、そのため、母に「これってそんなにすごいことなの？」とむじゃきに聞いて、母からどんなにおそろしいことか教えてもらっていた。

(記入日 2023 年 7 月)

新潟県柏崎市 12歳 小学6年生

年度末の最後の子ども会のため図書館に集合していました。3階だったため、すぐに揺れに気づきました。その日の図書館のほこりっぽさは覚えてます。

母が仕事でむかえに来るのが遅くなるので友達の家でしばらくすごしました。すこし暗くなってから母と妹と一緒に家に帰りました。

4月に入ってすぐ福島から転校生がたくさんきたことが印象に残っています。地震が来た当時より、それからの方がより震災を感じました。その時に来た転校生と改めて震災について話したいです。事情が事情なのでその当時何も聞けませんでした。今なら少し聞ける気がします。

3.11 から 2 年たったある日、福島からの転校生 2 人がけんかしていました。1人はおそらく原発のせいで、家は無事だけど避難をしなければならなかった A 君、もう1人は地震で家が半壊してしまい避難しなければいけなかった B 君。B 君が A 君に「お前はいいよな。原発のあれでお金がいっぱいもらえるから。うちは家が壊れて住めないのに全然お金もらえない」と言い放っていました。けんか自体はささいなものだったはずなのに、たまたま通りがかった私にとっては強く印象に残る会話でした。しばらくはただ印象に残るだけだったけど、成長するにつれて、その意味を段々理解できたように思います。意味がわかった瞬間、私ははじめて震災とは何かを生々しく、肌で実感しました。

(記入日 2024 年 9 月 6 日)

山梨県 11 歳 小学 5 年生

体育の授業中、階段を登っている時に揺れを感じた。親のお迎え、おじいちゃんだったかな、を待っている時、土をいじりながら待っていた。その時のグラウンドの匂いを覚えている。

夜はテレビをつけて寝ていた。

連日流れるテレビ、毎年 3 月 11 日に流れるテレビの情報、学校の授業で、災害の全容について知った。当時はテレビがすごい震災のことばかりでつまらないなあと思ってしまっていた。

あれから、震災を忘れないでいようと、大切に生きようと思うようになった。「もし、」で色んなことを考えるクセがついた。

(記入日 2024 年 3 月 11 日)

長野県 12歳 小学6年生

教室で、友達がさかだちをしている時に、地震が起きた。皆でお前がさか立ちしたせいで揺れているんだと、バカにしていたら、揺れがどんどん大きくなって行って、動揺した友達が、女の子に「好きだー」と告白していた。

最初は、直後、テレビの映像を見て、何かの映画をやっているんだと勘違いした。とても信じられなかった。

原発事故が起きたときに両親が動揺していた。自分は何のことか分からず、「それってヤバいの？」と聞いたら、「ヤバイよ」とかえってきた。震災から時間が経ち、当時の自分は本当に何もかも他人事だったのだとを感じる。

(記入日 2023年3月12日)

岐阜県岐阜市 9歳 小学3年生

地震の時は学童保育にいた。地域としては震度3～4くらいだったそうだが、私のいた施設は揺れを感じられず、教員らも気付かなかったためにそのまま帰宅。帰り道に血相を変えた母が車で迎えに来て、「大丈夫!？」と声をかけた。自宅のTVで初めて地震と津波のことを知った。TVは津波関連のニュースがつづき、「このままどうなるのだろう…」と、子どもながらに不安に思った。両親の慌てようを見て、「ああ、大変なことが起きているんだな」と悟った。被災地から場所が離れてはいたが、念のため避難道具一式を用意してから眠った。

「仮面ライダーオーズ」などのヒーロー番組が放送中止になったことを覚えている。そのときにネット上のだれかが「いま、ヒーローが大変な状況に対して助けに向かっているからTVに出られないんだ」ということを発信していた。

(記入日 2024 年9月23日)

静岡県浜松市 10歳 小学生

地震の時、午前授業が終わり、所属していた合唱部の送別会に参加していた。音楽室にいたので、グランドピアノがゆっくり揺れに合わせて動いた。みんなで必死にピアノの脚をおさえた。あれだけ大きな重いモノがひとりで動くことに恐怖したことを覚えている。

学校にいた全生徒が校庭に集められた。「これは訓練じゃないよ！本番だよ！」と叫ぶ先生たちの声が印象に残っている。

生徒は一斉に集団下校になり、家で母とTVを見ていた。その日の夜は、不安だったが、できることもないので、ドキドキしながら寝るしかなかった。

楽天イーグルスを応援しているので震災のことも時々触れたり話に出てくる機会がありますが、メディアテークでより具体的でリアルな話を知ることができたことで、ユニフォームの「がんばろう東北」により重みを感じるようになりました。

(記入日 2024年6月30日)

愛知県 9歳 小学生

地震の時は、学校で、下校中、校門を出る所だった。

海に津波によってできる白い線を、友達と自宅の高い所から見降ろしていた。

その日の夜は、家族とテレビを見ながら、東北地方の中継を見ていた。

(記入日 2024 年 3 月 12 日)